

## 生活習慣病予防健診(協会けんぽ)のご案内

全国健康保険協会(以下、協会けんぽ)の生活習慣病予防健診は35歳以上の被保険者(ご本人)の方が対象です。

年度中(4月～翌年3月)お一人様1回に限り、協会けんぽが健診費用の一部を補助します。

## 協会けんぽ 人間ドックコース(差額ドック)のご案内

年に一度の健康診断です。せっかく受けるのなら検査項目を追加して人間ドック(通常44,000円/税込)にしませんか? 協会けんぽの補助を利用し、人間ドックをご受診いただけます。

- 一般健診から人間ドックへの変更……………32,300円(税込)
  - 付加健診(40歳、50歳)から人間ドックへの変更……27,500円(税込)
- 詳しくはお問い合わせください。

## 生活習慣病予防健診の「お得ポイント」

### ①定期健康診断として利用できます!

協会けんぽの生活習慣病健診は、労働安全衛生法で事業主様に義務付けられている定期健康診断の検査項目が含まれているため、**定期健康診断**としてご利用いただけます。そのうえ、**検査項目が、定期健康診断より「がん検診」など8項目以上多くなっています!**

### ②健診費用の約6割を協会けんぽが補助します!

協会けんぽの生活習慣病予防健診は、1名につき、約11,000円の補助が受けられ、**実質の健診費用は約7,000円になります。**定期健康診断の一般的な費用が、約7,000円～約8,000円なので、**定期健康診断をお得に受診できます!**

### ③各種がん検診を含む充実した内容です!

自覚症状のない初期の段階で「がん」を発見するためには、「がん検診」の受診が欠かせません。協会けんぽの生活習慣病予防健診は、**胃がん・肺がん・大腸がんを早期発見、早期治療するための項目**を含んでいます。また、女性のみ、子宮頸がん検診、乳がん検診も補助の対象です。(各検診には対象年齢があります)。

**「生活習慣病予防健診」=定期健康診断+がん検診と覚えましょう!**

## 生活習慣病予防健診の検査項目

健診の種類	主な検査の内容	対象年齢	自己負担額
一般健診	・診察等・身体計測・血圧測定 ・尿検査・便潜血反応検査 ・血液検査・心電図検査 ・胸部レントゲン検査 ・胃部レントゲン検査 (胃カメラへの変更可)	35歳～74歳の方	7,169円 (胃カメラの場合 11,569円※1)
子宮頸がん検診 (単独受診)	・問診・細胞診	20歳～38歳の 偶数年齢の女性	1,039円

※1:胃カメラが苦手な方へは経鼻カメラや、鎮静剤を使用し眠った状態で検査を受けることができます(別途費用2,000～2,500円申し受けます)。なお、鎮静剤を使用して検査を行った場合、車の運転は危険を伴うため、付き添いの方の送り迎えでご来院いただく必要があります。

## 一般健診に追加して受診する健診

(単独受診はできません)

健診の種類	主な検査の内容	対象年齢	自己負担額
付加健診	・尿沈渣顕微鏡検査 ・血液学的検査 ・生化学的検査 ・眼底検査 ・肺機能検査 ・腹部超音波検査	・40歳の方 ・50歳の方	4,802円
乳がん検診	・問診・視診・触診 ・乳房エックス線検査	40歳～74歳の 偶数年齢の女性	50歳以上 1,086円 40歳～48歳 1,686円
子宮頸がん検診	・問診・細胞診 ※1	36歳～74歳の 偶数年齢の女性 <b>36歳、38歳の方は単独受診可</b>	1,039円
肝炎 ウイルス検査	・HCV抗体検査・HBs抗原検査	今まで肝炎ウイルス検査を受けたことがない方	624円
	・HCV核酸増幅検査	肝炎ウイルス検査で異常がみられた場合	0円